

2025年度『人文・自然研究』募集要項・執筆要領

以下の要領で2025年度『人文・自然研究』20号への投稿を募集します。

執筆ご希望の方は、2025年7月9日(水)までに Google フォーム
<https://forms.gle/Jh7yyLS2DYKN2CPm6> よりお申込み下さい。

ご不明の際は編集委員会 jinbunshizen@googlegroups.com 宛までメールでお問い合わせ下さい。

本誌は電子媒体での刊行です。抜刷を含め紙媒体での作成は原則として致しません。2026年3月の公開を予定しています。

1 執筆資格

申込年度において、本学に雇用されている者であること。ただし学生身分の場合は、本学専任教員を執筆責任者とすること。共著論文については、執筆資格者が執筆責任者であれば、共同執筆者に制限はありません。

2 執筆カテゴリー

募集するカテゴリーは以下の3種類です。

- i) 研究ノート（和文 8000 字程度、英文 2800 語程度）
- ii) 論説（和文 16000 字程度 英文 5600 語程度）
- iii) 長編論説（和文 40000 字程度、英文 11000 語程度。ただし、より多くの字数を必要とする場合には相談に応じます）

これらのカテゴリーに沿わない形式の原稿については、編集委員会にご相談下さい。

上記の長さの目安には、註釈・図版・参考文献リストなどを含めます。註釈の形式（脚註／文末註）は自由です。

なお、投稿は、未発表原稿に限ります。

3 原稿の掲載について

本誌は査読誌ではありません。ただし、投稿された原稿の内容や形式に問題があるとみなされる場合は、編集委員会で協議の上、改稿・再提出をお願いする場合があります。この場合、再提出いただけないときには掲載取り下げの扱いとさせていただきますので、ご注意ください。

4 提出期限、提出方法

原稿提出の締切は、2025年9月11日(木)とします。締切は厳守して下さい。締切を過ぎた場合には、あらためて次号にお申し込みいただくことになります。

ご提出いただくものは以下の通りです。

- 1) 「完全原稿」の電子ファイル

Word 形式のファイル (doc/docx) を、上記編集委員会宛のメールに添付してご送付下さい。送付時のメール件名は「人文・自然研究 20 号原稿」として下さい。Word 形式ファイル以外の形式での提出をご希望の場合は、執筆申し込み時に編集委員までご相談下さい (ただし別形式ファイルの受理を保証するものではありません)。

執筆のお申込みをされていても、原稿が期日までに提出されない場合は、申込キャンセルとして扱わせていただきます。また、エントリーシート提出時の予定字数・語数を大幅に (2 割以上) 超過しそうな場合には、あらかじめご相談ください。

なお、外国語により執筆なさる場合には、原稿提出前にあらかじめ各自ネイティブチェックを済まされた上、原稿提出時に「ネイティブチェックシート」をご提出ください。

2) 英文等アブストラクト (電子ファイル)

英文等による氏名・タイトル及びアブストラクトを、本文原稿とは別の電子ファイルでご提出下さい。アブストラクトは 100~250words 程度をめやすとしますが、1 論文につき 1 ページで編集するため、組版の結果 1 ページを超過した場合には削減調整をお願いすることになりますので、あらかじめご承知おき下さい。

編集委員会によるアブストラクトのネイティブチェックは実施いたしません。執筆者各自においてネイティブチェックを済ませ、原稿提出時に「ネイティブチェックシート」にご署名の上、ご提出下さい。

英語以外の言語によるアブストラクト執筆も可能ですが、ネイティブチェックはやはり編集部では行いませんので、原稿提出前にご自身で済まされますようお願いいたします。その場合にも「ネイティブチェックシート」をご提出下さい。

5 アップロード時の体裁

本文中に、日本語または英語以外の言語による引用、数式、図表、図版など、特殊な組版を必要とする部分が含まれている場合は、あらかじめ編集委員会までお申し出下さい (編集上希望通り実現されない場合もあります)。

横組みを原則としますが、縦組みも可能です。縦組みをご希望の場合、執筆申込フォームでご選択下さい。また原則として文中・文末の区切りにはコンマ・ピリオドでなく句読点を用いますが、横組み印刷に際してコンマ・ピリオドの方式をご希望のかたは、そのむねも執筆申込でご選択下さい。

論文誌としての統一性を保つため、フォント、フォントサイズ等は、所定のものを使用します。分野の慣習など格別のご事情により特殊なご希望がある場合には、これもあらかじめ執筆申込フォームにご記入くださるか、別途編集委員会までご相談下さい。

6 校正

著者校正は原則として 2 回です。字句や文言等に関わる詳細な校正は編集部では行いませんのでご注意下さい。字句の修正、図表、写真等の差し替えなどは、すべて校正時に行って下さい。なお校正時の字句の修正は必要最小限にとどめていただきますようお願いいたします。大幅な校正が必要とされたときには、完全原稿ではないとみなし、編集部の判断により、掲載を次号に繰り下げさせて頂くこともありますのでご注意下さい。

7 公開及び権利関係について

『人文・自然研究』は専用特設ホームページ、一橋大学図書館ホームページ（HERMES）及び機関リポジトリにおいて一般公開されます。他著の図表・図版等や、著作権のある絵画等を引用する場合は、公開を前提に投稿者自身で著作権保持者、複製権保持者から引用許可を取り、許可の写しを原稿プリントアウトと一緒にご提出下さい。

なお、2019年度より、著書の出版等に伴うリポジトリ公開の停止は原則として行っておりません。出版のご予定のある方はこの点をご理解の上、計画的にご投稿下さい。特設 HP における公開についてもこれに準じます。

さらに、2022年度刊行分から、リポジトリで公開する諸論文の抄録情報を外部の文献検索データベース等に提供することで本学研究成果の流通促進をめざす学術推進課の方針にのっとり、『人文・自然研究』所収論文の各アブストラクトを HERMES-IR から文献検索サービス等を提供する第三者に提供し、第三者がそれを利用することを一括許諾しています。これは個別に拒絶することもできますので、ご意向に沿わない場合には申込フォームでそのむねご選択ください。

本誌に投稿される論文等に関する国内外の著作権は原則として著者に帰属します。ただし、一橋大学全学ないし雑誌全体の方針として電子媒体上での公開を行う際には、各著者からの個別の許諾を得ることなくこれを行うことができるものとします。

8 倫理指針

人を対象とした研究については、人を対象とする研究の倫理規則（平成 28 年規則第 104 号）「一橋大学における人を対象とする研究の倫理規則」に則った上で行われたもののみを掲載可能とします。その他の研究については、一橋大学における研究活動に係る行動規範（平成 19 年制定）や、一橋大学における公正な研究活動の推進に関する規則（平成 27 年規則第 164 号）などに則ることが求められます。編集委員会により掲載可として承認された後に、これらの規則・規範への非違が明らかになった場合には、掲載承認を取り消すものとします。また電子版掲載後に本規則に違反する事実が明らかになった場合には、掲載承認を取り消すと共に掲載を取りやめるものとします。

9 連絡・お問合せ先

編集委員会 jinbunshizen@googlegroups.com

編集委員 南裕子・坂なつこ・前田眞理子・八幡さくら